



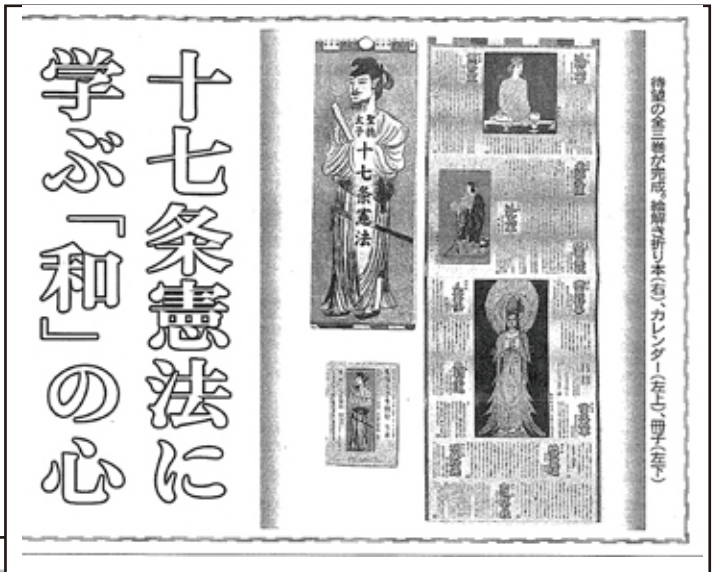
# ビーバンジョア健康肌化粧品 情報

## ビーバンジョアのCSR活動

世界情勢が混沌としている今、「和」が平和にとって一番重要なことだと思われまます。ビーバンジョアはCSR活動の一環として5年前より「和の心を広める」運動をしてきましたが、この運動が世界中に必要とされ、認められる時がきたと確信しています。これからも引き続き「和の心」が世界中に広がり受け継がれるための一端を担えるよう努力していきたく思います。皆様のご協力を期待しています。十七条憲法の解説は化粧絵 129号をご覧ください。



和のマグネットも引き続きお配りしていきます



2022年に1400年の大遠征を迎える聖徳太子。文科省が2月、中学の次期指導要領改定案にある「厩戸王」への表記変更を従来の「聖徳太子」へ戻すよう最終調整する動きがニュースとなったことも記憶に新しい。こうした中、大阪のグループが太子の威徳を仰ぐ冊子類を発行し、衰退しつつある「和」の精神の普及に努めている。(佐々木誠)

グループは「十七条憲法を讀む会」(尾上一雄会長)。  
太子創建の和宗総本山四天王寺・第110世管長で、昨年3月に亡くなった故出口順得氏が生前開講した連続講話の聴講者がメンバーだ。  
聖徳太子研究と布教をライフワークとした出口氏は2004年、十七条憲法制定(604年)1400周年を記念して「同寺・五智光院で1年間

にわたり太子の精神を説いた。13年には自筆の水彩画をあしらった「日めくり壁掛けカレンダー」と解説「絵解き折し本」を私費で製作。太子と同憲法を讀み解く試みは反響を呼び、手にした人々から「条文を讀むと今日の閉塞状況を解く糸口を見い出せるような思い」など歓迎の声が多く寄せられた。  
もともとカレンダー・折し本・冊子の全三巻として企画した。出口氏の逝去で冊子のみ完成を見なかったが、メンバーが遺志を継いで編集に取り掛かり、今春の一周忌に完成。待望の三巻がそろった。  
会事務局の中西敦彦(68)は「1400年にわたり脈々と受け継がれた本當の意味での「和」の心を讀んでもらえれば」と話している。三巻セット800円(限定千部)で配布。同寺・南大門東側の西丸本陣、西門前のトンナ佛玉堂、北区茶屋町のMARUZEN&ジュンク堂書店梅田店などで取り扱っている。事務局に申し込み(はがき)の場合は送料無料。

四天王寺 講話聴講生グループが冊子  
**亡き管長の遺志継ぎ配布**

条文と現代語訳が記されている「日めくり壁掛けカレンダー」

〒543-0031、大阪  
市天王寺区石が辻町12の37の  
501。メールでの申し込み  
も可。shoutokutaishi.1  
7@yahoo.co.jp